

# TOTO

## 施工説明書

### オートストップ取り替えパーツ

THG8・9・10型  
TH743・745・755型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

#### 警告



必ず実行

オートストップバルブを取り外す際は、必ず止水栓を閉めてから行う

高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

## 1 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

	品番	形状	参照項目	対象商品
オートストップバルブ+ハンドルセット	THG8型		2	TMF49A型 TMF49C型 TMF49C1型 TMF49W型 TMF19A型 TMF19C型
	THG9型		3	TMF49C1型 TMF49C2型
	THG10型		4	TBF19型
オートストップバルブ	TH743型		2	TMF49A型 TMF49C型 TMF49C1型 TMF49W型 TMF19A型 TMF19C型
	TH743-1型		4	TBF19型
	TH745-1型	<シャワー自閉用> 	3	TMF49C1型 TMF49C2型
ハンドル	TH755-7型	<温度調節ハンドル> 	5	TMF49A型 TMF49C型 TMF49C1型 TMF49C2型 TMF49W型
	TH755-8型	<シャワー開閉ハンドル> 	6	TMF49C型 TMF49W型

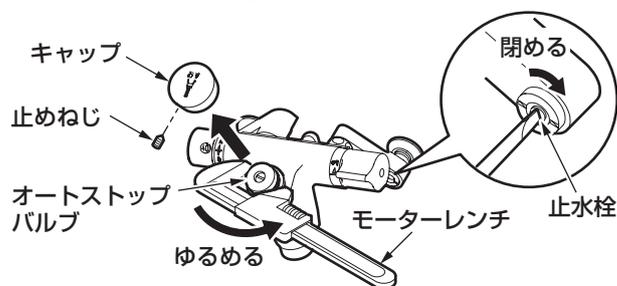
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## 2

### THG8型・TH743型の場合

重要

- 湯側・水側の止水栓を閉める。
- キャップを押し、水を出す。
- 止めねじをゆるめてキャップを引き抜き、取り外す。
- オートストップバルブをモーターレンチでゆるめて取り外す。



- 新しいオートストップバルブを組み込む。



- キャップを押しして数回水出し操作を行なったあと、吐水量を確認する。

お好みの吐水量になっていない場合 → 7へ

- 新しいキャップを取り付け、止めねじで固定する。

※キャップのマークが正面を向くようにはめ込んでください。  
※止めねじはゆるまないよう十分に締め付けてください。  
※TH743型の場合は、既設のキャップを取り付けてください。

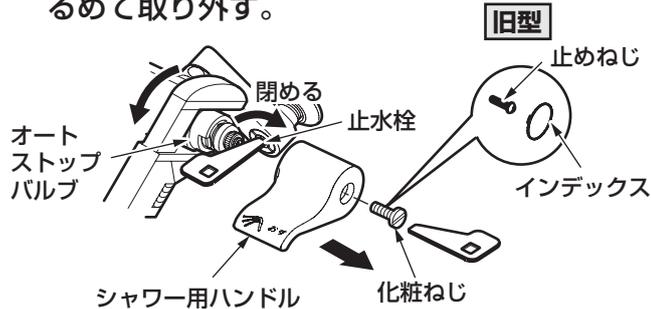


# 3

## THG9型・TH745-1型の場合

**重要**

- 湯側・水側の止水栓を閉める。
- シャワー用ハンドルを押し、水を出す。
- 化粧ねじを取り外す。  
旧型の場合はインデックスおよび止めねじを取り外す。
- シャワー用ハンドルを取り外す。
- オートストップバルブをモーターレンチでゆるめて取り外す。



- 新しいオートストップバルブの凸部と本体の切り欠きをあわせて組み込み、ナットをモーターレンチで確実に締め込み固定する。



- 新しいシャワー用ハンドルを本体の印①とハンドル内側の印②をあわせて取り付ける。

※印がずれると設定した吐水時間が得られなくなります。

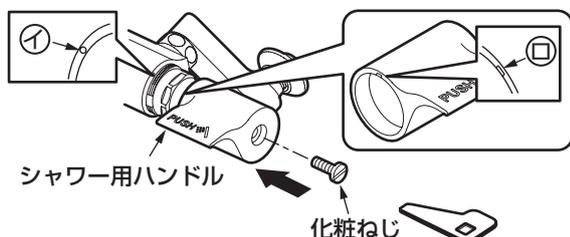
※TH745-1型の場合は、既設のシャワー用ハンドルを取り付けてください。

- シャワー用ハンドルを押し、数回水出し操作を行なったあと、吐水量を確認する。

ハンドルが外れて落下しないように必ずハンドルに手を添えて操作してください。

お好みの吐水量になっていない場合 → 7へ

- シャワー用ハンドルを化粧ねじで固定する。

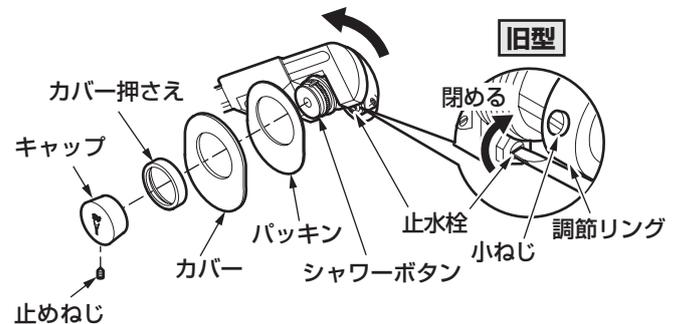


# 4

## THG10型・TH743-1型の場合

**重要**

- 止めねじをゆるめてキャップを引き抜き、取り外す。
- カバー押さえをゆるめ、カバー・パッキンを取り外す。
- 止水栓を閉める。
- シャワーボタンを押し、水を出す。
- 旧型の場合、小ねじをゆるめて調節リングをずらす。
- オートストップバルブをモーターレンチでゆるめて取り外す。



- 新しいオートストップバルブを組み込む。
- シャワーボタンを押して数回水出し操作を行なったあと、吐水量を確認する。

お好みの吐水量になっていない場合 → 7へ

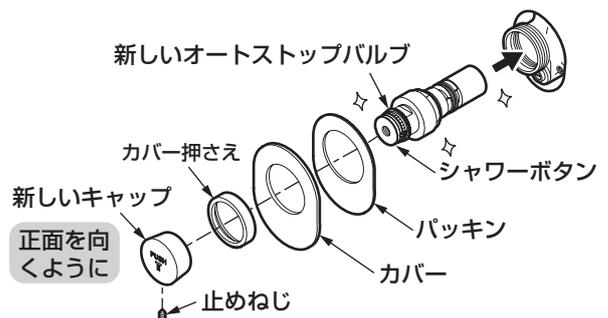
- カバーの内側にパッキンを入れて、オートストップバルブにはめ込み、カバー押さえで締め込む。

- 新しいキャップを取り付け、止めねじで固定する。

※キャップのマークが正面を向くようにはめ込んでください。

※止めねじはゆるまないよう十分に締め付けてください。

※TH743-1型の場合は、既設のキャップを取り付けてください。



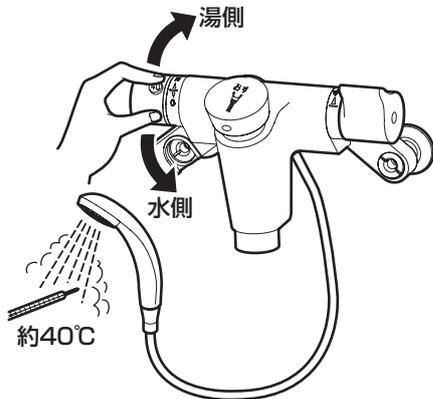
裏面へつづく

5

## TH755-7型の場合

1. 吐水口用ボタンまたはシャワー用ハンドルを押し、温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温（約40℃）の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

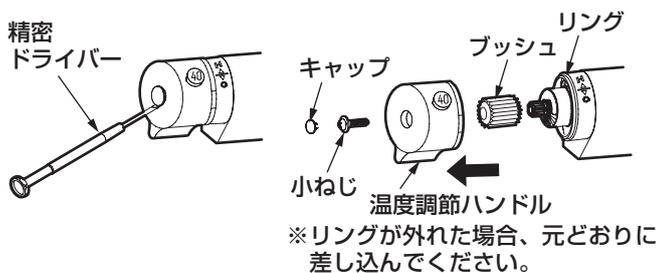


2. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじを外してハンドルとブッシュを抜き取ってください。

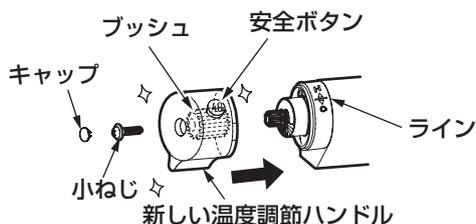
## 注意

キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。



3. 新しい温度調節ハンドルを取り付ける。

安全ボタン"40"の文字とラインをあわせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。

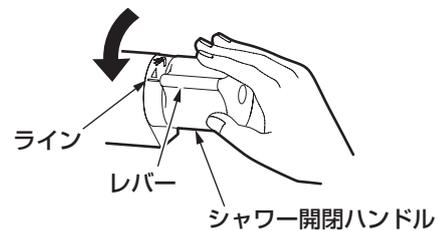


4. 固定後に適温（約40℃）の湯が出ているか確認する。

6

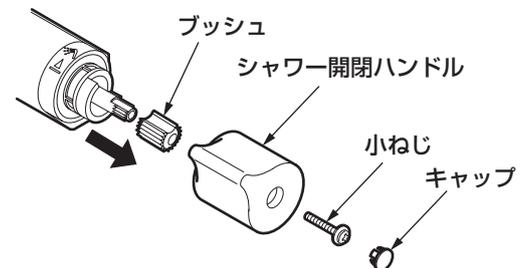
## TH755-8型の場合

1. シャワー開閉ハンドルのレバーをラインの位置にあわせる。



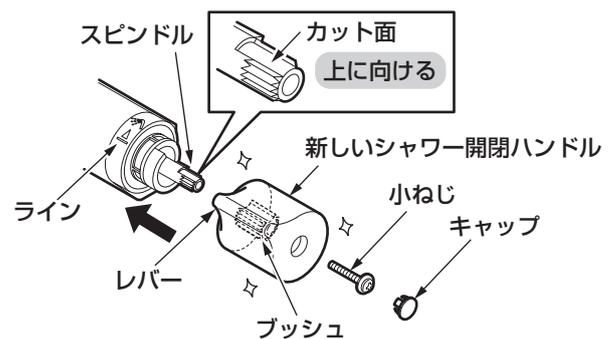
2. シャワー開閉ハンドルを外す。

シャワー開閉ハンドルが回らないように注意して、キャップ・小ねじを外してハンドルとブッシュを抜き取ってください。



3. 新しいシャワー開閉ハンドルを取り付ける。

スピンドルのカット面を上に向け、レバーとラインをあわせてハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。



## 注意

ハンドルを取り外した際にブッシュがない商品の場合は、別途部品が必要です。

TOTOメンテナンス(株)  
TOTOパーツセンターに  
お問い合わせください。

TEL ☎0120-8282-55

FAX ☎0120-8272-99

受付時間：平日 9:00～18:00

土・日・祝日 10:00～18:00

(夏期休暇・年末年始を除く)

※インターネットでの部品購入は  
TOTOWebショップへ(24時間受付)  
<http://www.toto.jp/ec/html/index.htm>

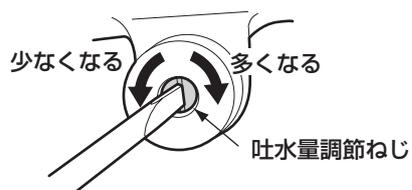
# 7

## 1回分の吐水量の調節

※1回分の吐水量の調節は、以下の手順に従い正しく行ってください。  
手順を誤ると、正しく設定できないことがあります。

時計回りに回すと吐水量が多くなり、  
反時計回りに回すと少なくなります。

吐水口の場合 (洗面器一杯程度が目安です)



シャワーの場合 (25秒程度が目安です)

